



内膳町自治会通信

《第16号》

会報編集委員会
平成25年6月発行

より住み良い街づくりを

会長は梅村信嘉氏が再選

一年間の自治会運営を総括する平成25年度地縁団体内膳町自治会総会は5月26日(日)午後1時30分からすみれホールにおいて、1167名(本人出席60名、委任状1107名)が参加して開かれました。平成24年度の事業報告、役員の変更、平成25年度の事業計画(案)、収支予算(案)の発表が行われ、いずれも原案通り承認されました。なお会長には、梅村信嘉氏が再選されました。



総会で挨拶する
梅村自治会会長



平成25年度通常総会議案

1. 平成24年度事業報告
2. 平成24年度決算報告
及び監査報告
3. 平成25年度役員選出
4. 平成25年度事業計画(案)
5. 平成25年度収支予算(案)

出席者

本人 60名
委任 1,107名
合計 1,167名

定刻の午後一時半、司会の上田副会長が出席者及び委任状の数を読み上げ、総会の成立を宣言しました。冒頭、役員を代表して挨拶に立った梅村会長は「月例で役員会を開き、常に良い街づくりを協議しています」と基本方針を強調するとともに、直近の状況を説明しました。資産を管理する財産管理部会については、「築13年を経て、会館の電気系統や水回りなどに支障が出ています。随時修理するとともに、改修に際しては、要望を入れて行っています」と利用者の要求に応じて、トイレを和式から洋式にリフォームし

25年度 通常総会(5月26日)に60人出席

ご挨拶

一言ご挨拶申し上げます。平素は内膳町自治会の運営に對しまして、ご理解とご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。さて、私も昨年の6月24日自治会総会において、自治会長にご推挙いただき、お陰様で無事に1年間会長として務めさせていただきました。今後とも内膳町自治会の皆様方を第一と考えて自治会運営を行って参りますので、何卒よろしくお願い致します。

地縁団体 内膳町自治会 会長 梅村 信嘉

た具体例をあげました。

また、安心安全環境部会について「安心安全の街づくりとして、平成23年から三年計画で防犯カメラ、街路灯、防犯灯の設置を進めてきました。今年は最終年度。1丁目、5丁目を対象に作業を行います」と説明。更に、市に運営を業務委託している駐輪駐車場に關して、「24年度の賃貸料金は月額270万円(初年度200万円)でした。25年度は280万円で契約する予定です」と全般的な自治会の取り組みを報告。その上で「総会の場で十分に意見をいただきたい。」と述べました。

続いて、来賓の杉井樞原市議会議員、堀本前自治会会長の両氏から挨拶を受けた後、場内から一任された、上田副会長が力馬さんを議長に選任。力馬さんが書記及び議事録署名人を任命し議事が始まり、議事は事前に配布された議案書に沿って、各担当役員が項目ごとに内容を説明。いずれも原案通り満場一致で承認され、総会は午後2時40分に終了しました。

役員会で会計報告などを承認
総会に先立ち5月2日(土)に開かれた役員会において、平成24年度事業、収支決算の報告があり、いずれも承認。また新役員、総会での議事次第などを確認しました。

続いて、来賓の杉井樞原市議会議員、堀本前自治会会長の両氏から挨拶を受けた後、場内から一任された、上田副会長が力馬さんを議長に選任。力馬さんが書記及び議事録署名人を任命し議事が始まり、議事は事前に配布された議案書に沿って、各担当役員が項目ごとに内容を説明。いずれも原案通り満場一致で承認され、総会は午後2時40分に終了しました。

財産管理運営部会

部会長 下田 吉美
副部会長 福井 喜房
部会員 井上 吉夫
" 玉岡 伸泰
" 森澤 一
" 平岡 才治
" 多田 利雄

自治委員部会

部会長 田中 眞幸
副部会長 杉井喜代秀
部会員 辰巳 操司
" 松井 広視
" 杉井 康二
" 波戸 種久
" 橋本 佳三

安心安全環境部会

部会長 刈田 昌彦
副部会長 神所 孝
部会員 小林 正雄
" 橋本 安男
" 上田 清司
" 井上 稔
" 浦野 真二

会長	梅村 信嘉
副会長	上田 剛
"	田中 眞幸
会計	下田 吉美
"	福井 喜房
理事	神所 孝
"	小林 正雄
"	刈田 昌彦
"	浦野 真二
"	橋本 安男
"	杉井 康二
"	玉岡 伸泰
"	武嶋 誠二
"	杉井喜代秀
"	井上 吉夫
監査	森澤 一
員外監査	打谷 久義
相談役	杉井 康夫
顧問	田中 博

平成25年度地縁団体内膳町自治会役員名簿(敬称略)

自治会と自治委員が 合同会議を開催

平成25年度第一回役員会は、地区の自治委員に出席を要請。6月7日(金)19時から、自治会・自治委員合同会議として行われました。

会の冒頭梅村会長が「開かれた自治会運営を心がけています。幅広い協力を」と挨拶。自己紹介に続き、地縁団体内膳町自治会の構成(別表)が発表された後、自治会の各専門部会から25年度の取り組みについて説明がありました。

下田財産管理部会長から資産管理と財務状況並びに、今年度の収支予算の概要を説明。また築13年を経過し、経年劣化現象が各所に現れている自治会館の点検結果と修理計画が報告されました。次に安心安全環境部会・刈田部会長は防犯カメラ、街路灯、防犯灯の設置状況と今年度の計画を発表した他、毎月実施している夜間パトロールへの参加を呼びかけました。最後に田中自治委員部会長が飛鳥川堤の草刈り清掃や愛宕まつりの奉賛など、自治委員の年間参加事業を説明しました。

会議ではこの他、自治会側から連絡文書の配布や主催事業(秋まつり・桜まつりなど)への参加協力を要請したことに対し、自治委員側から「出来る限り応えたい。マニュアルを作成し提示して欲しい。」と意見が述べられました。

夜間パトロールが読売新聞に紹介



読売新聞に掲載された写真

防犯対策の一環として、自治会が榎原警察署の協力を得て定期的に行っている「夜間パトロール」が、4月27日付読売新聞（夕刊）に採り上げられました。

4月22日、警察署員3人と自治会委員11人の計14人で行ったパトロールに読売新聞の記者が同行取材。通行する人に、ひったくりなどの犯罪に対す

る注意を呼びかけながら、約一時間をかけて町内を巡回する様子が紹介されました。

新聞M紙によると、県下では今年に入り、ひったくり事件の発生が激増。4月末の時点で榎原市内における発生件数は10件。その被害者の大半が女性、6割以上が60代以上とのことです。原付バイクや自転車で見つかり、追い抜きざまに奪う手口が8割を占めていると報じられていました。自分で行ける防犯対策を心がけ、被害に遭わない様に注意しましょう。

夏を前に装い 飛鳥川堤の草刈り・清掃

飛鳥川堤の草を刈り、投棄されているごみを収集する作業が、6月8日（土）自治委員ら27人が参加して行われました。地区の受け持ち範囲は約300m。ここ暫く雨が降っていないので足場は良好ですが、連日の好天が雑草の生育を早めているのか、例年より一段と雑草の茂りを感じました。集合予定時刻（午前8時）よりも早目に集まった参加者が思い思いの道具を手には、持ち場を決めて作業開始。



こざっぱりと川の堤が整備されました

り上げられた堤は道幅が広くなり、見通しが良くなりました。空きカンやペットボトルなどの不法投棄物も、ごみ袋五つに集められました。終わりに、自治委員を代表して田中眞幸さんから「早朝よりお疲れさまでした。次回（秋）もよろしく願います。」と労をねぎらう挨拶があり作業終了。ご苦労様でした。

「命をまもる」救急救命講習会

日時：6月22日（土） 午前10時～12時
場所：内膳町すみれホール5階ホール
内容：心肺蘇生法
（人工呼吸、AEDの取り扱い等）
応急手当の方法
お誘い合わせの上、ぜひご参加ください



主催：内膳町防災会

地蔵盆のおしらせ

地蔵菩薩を祀り子供の健やかな成長を願う「地蔵盆」が7月23日（火）に営まれます。当日は午前11時から諦聴寺のご住職に読経をあげて頂く予定です。子供たちには「お下がり」を用意しています（約100人分）。お友達、ご家族でぜひお越しください。

場所・内膳大師堂（2丁目）
時間・午前11時～午後5時



ぐる〜つと南紀を一巡り

5月14日～15日・善寿会一泊旅行

世界遺産と名湯勝浦温泉の旅

内膳善寿会春の恒例行事一泊旅行は5月14日（火）～15日（水）の二日間27名が参加。バスで南紀を一巡り、世界遺産と名湯の旅を楽しみました。

まるで旅立ちを祝福するかのごとく、さわやかに広がった青空。一行は14日午前8時、八木駅を貸切バスで出発。一路今晚の宿泊地・勝浦を目指しました。案内役は「サッチャン」ことハートトラベルの中村幸子さん。会員個々の持ち歌までご存じという、善寿会を知りつくされているベテランガイドに、今回もお任せです。

尾鷲で腹ごしらえをした後、熊野三山の速玉大社と那

智大社を参拝。（残念ながら、那智大社は改修工事のため遠目からの参拝となりました）そして夕刻前、ようやく南紀勝浦温泉・ホテル浦島に到着。

早々と旅装を解いて浴場へ。湯船にどっぷりつかり、手足を思いっきり伸ばして「アーア気持ちいい」とほっと一息。評判通りの温泉で旅の疲れを癒した後は、おまちかねの夕食です。海の幸をふんだんに使った料理に舌鼓を打ちながら、カラオケや歓談に盛り上がり、楽しい一時を持ちました。

旅の二日目は串本町の岩の芸術作品「橋杭岩」の観光を経て、海鮮マーケット「とれとれ市場南紀白浜」。豪快なマグロの解体ショーを見物した後、それぞれ家族や渡す人の顔を思い浮かべながら、お土産を見て回りました。

参加者の大半が大和育ち。いくつになっても海は新鮮です。南海の青い大海原は、子どもの時分、初めて海を見たときの感動を懐かしく思い出させてくれました。

好天に恵まれ、世界遺産、温泉、海の三方から英氣を得て全員が満足顔。次回を楽しみに旅を終えました。

善寿会へのお申し込み、お問い合わせは高林さん（☎22-2715）迄お願いします。